



980号
2024年5月7日
郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行



←中国地本HPへ
PC・スマホ等から
この情報が閲覧可！



メールはこちら→

労働力確保の重要性

2025年度新卒採用

新卒採用予定数は、左図の予定となっている。

2025年4月新卒採用予定人数（前年の予定人数）（名）

	日本郵政	日本郵便	ゆうちょ銀行	かんぽ生命
総合職	65 (73)	- (-)	80 (80)	70 (70)
業務職等	業務職 若干名(若干名)	地域基幹職 700 (400)	エリア基幹職 80 (50)	エリア基幹職 310(470)
一般職	-	1,900 (1,200)	-	- (-)

かんぽ生命は減員となったが、グループ全体で見れば、増員傾向だ。人員確保の問題は、今後厳しさを増していく。少子高齢化により、労働人口減少が深刻化していくからだ。既に人員確保競争の過熱で、初任給引き上げ等の優遇を行う企業も増え出している。

そのような状況の中で、将来の担い手である新卒確保は重要課題の一つである。当然ながら、採用予定数を増やすだけでは、人員確保はできない。

また、入社しても、短期間で退社する場合もある。そうならない為にも、社員全員が働きやすい労働環境整備が必要だ。

それは、現在働いている社員の労働環境維持にも繋がる。

欠員が出ても、社員負担を増さない配慮が必要だ。人員をしっかりと確保し、社員が安心して働ける労働条件や労働環境を経営陣は提供しなければならぬ。

社員登用・転換の案内

アソシエイト社員・期間雇用社員・短時間社員から、正社員への登用試験が今年も行われる。

一定の条件を満たしていれば、一次審査が免除される為、受験希望者は、免除条件を確認してほしい。対象者には管理者からの案内はあるが、コロナ等も考慮し、申し込みは早めに済ませるのが無難だろう。

なお、春闘回答で、社員登用と転換の予定数は左図の通りである。

2024年度の予定人数

	一般職登用	基幹職へコース転換
日本郵政(株)	若干名	若干名
日本郵便(株) 郵便コース	2,700名程度	2,100名程度
日本郵便(株) 窓口コース	500名程度	1,700名程度
(株) ゆうちょ銀行	50名程度	50名程度
(株) かんぽ生命	20名程度	20名程度

ユニオンの取組

組合の春闘要求には、アソシエイト社員転換後、2年で正社員を希望すれば、正社員へ登用などの内容もあった。

会社は「要求には応じられない」と拒否したが、一般職への登用や基幹職へのコース転換に関しての要件緩和等も求めていた。

要件緩和は拒否したが、コース転換等の採用人数増加は実施される。

社員のモチベーション維持と優秀な社員確保・流出防止が回答だった。

一方で、時給を200円以上引き上げること、全国一律1,500円以上の時給という要求に対しては、ゼロ回答だ。

郵政Gには、時給で働く契約社員も多く、社員確保や流出を防ぐ為には、最低賃金に対する20円程度の上乗せでは到底足りない。

スキル等で上乗せはあるが、スキルは本人の努力に対する対価であり、十分とは言えない。

全社員で利益を出しても、社員に還元する事を渋り、内部留保に蓄えるだけでは、経済は回らない。景気を良くするには、お金を滞りなく流す必要がある。

特別一時金

5月24日に特別一時金として、フルタイムで働く社員に対して15,000円が支給される。

フルタイム以外では、所定労働時間に応じた支給額となる。

特別一時金は課税対象の為、手取り額は12,000円程となる。

物価高に対する支援として十分とは言えないが、助かる事は間違いない。

6月からは、政府施策の定額減税も行われる。

政策支援も良いが、一度限りの減税施策ではなく、最低賃金の大幅アップなど、根本的な改革を行わなければ、国民生活自体守れなくなる。

円安や物価高が国民生活に与える影響はとて大きい。

今後の予定

- 5月14日(火) 17:00~
第7回呉支部執行委員会
支部事務所

次号は 5月21日 予定